

泉陽会 会報

いづみ

編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号
大阪府立泉陽高等学校内
TEL (072) 227-6030
FAX (072) 232-0005
URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 亨(27期)

令和4年度 総会



今年の総会は令和4年4月3日(日) 10時半より、予定どおり泉陽会館で開催いたしました。コロナ対策については、席の間隔を開けて密を避け、また、換気などを行いました。ご出席者につきましては、下記のとおり、合計で40名の方にご出席いただきました。

- 校長・教頭・事務長・顧問 4名
- 執行委員 17名
- 代議員・会員(S26～S55) 19名

「総会」の進行と内容を報告します。

岡本組織委員長(S52年卒29期)より、司会進行・開会の辞がなされました。君が代・校歌・旧校歌につきましてはピアノ伴奏のみとし、出席者による斉唱は中止しましたが、思わず口ずさむ方が多かったようです。

伊藤裕康泉陽会会長挨拶、栗本悟新学校長挨拶に続き、荒木順子新教頭より、本年度の教職員の異動が述べられました。新

学校長のご挨拶では、食堂の空調機器設置についての感謝の言葉をちょうだいしました。大阪府下の高校で、食堂に空調設備が設置されている高校は少ないようです。

「議案書」に基づく議事に入る前に、吉山 論 広報委員長(昭和60年卒37期)が議長に選出されました。同時に「議事録署名人」に吉野学氏・美濃部重典氏(両名昭和46年卒23期)が推薦され、承認されました。

今回の議案は次の6議案でした。いずれも問題なく、可決、承認となりました。



- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度決算報告
- 第3号議案 令和3年度年度会計監査報告
- 第4号議案 令和4年度事業計画(案)
- 第5号議案 令和4年度予算(案)
- 第6号議案 120周年記念事業報告

ご出席者より、『120周年記念事業に関連して、食堂を見学してみたい』とのご要望をいただき、閉会後に事務長のご案内で食堂見学を実施しました。

コロナ禍下の総会であり、例年より出席者は少なめでした。来年度は多くの方にご出席いただけることを期待しています。来年度の総会の開催予定は、2023年4月2日(日)10時半開催を予定しています。代議員、会員のみなさまのご出席、お待ち申し上げます。

【いづみ第54号 コンテンツ】

会長挨拶	2
新校長のご挨拶	2
前校長のご挨拶	3
泉陽会について	3
堺化学工業株式会社の矢部社長に聞きました	4
令和3年度事業報告	5
令和4年度事業計画	6
令和3年度収支決算報告／令和4年度予算	7
120周年記念事業のご報告	7

令和3年度 いづみ(第53号) 読後アンケート	8
令和4年度 教職員異動	8
令和3年度(74期) 進学状況	9
令和3年卒(74期) クラス幹事のご紹介	9
東京支部 活動報告	10
卒業生は今(昭和30年卒7期生の長井徳郎さん)	10
同窓会報告・伝言板	11
卒業生クラブだより	12
成人記念同窓会(令和2年卒 72期)	14
恩師は今(青山充夫先生)	15

読後アンケートにご協力ください

昨年度は13件のご回答をちょうだいしました。ご協力ありがとうございました。今年もいづみの誌面のさらなる魅力づくりのために、読後アンケートにご協力ください。スマートフォンなどから、右のQRコードでアクセスいただければ、アンケート回答のホームページが開きますので、項目に従ってご回答いただければ幸いです。直接アクセスする際は、次のURLとなります。 <https://forms.gle/HE3rVoLZFUoyogF56>



住所変更などの会員情報の
変更はこちらから



会長挨拶**「今年こそは笑顔を取り戻したい」**

泉陽会会長 伊藤 裕康(昭和44年卒・21期)

拝啓 泉陽会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年から今年にかけてコロナ禍が続き、私たちの暮らしが大きな影響を受けております。反面、『大谷 翔平、メジャーMVPに』、『東京五輪、日本は史上最多58メダル(読売 2021 日本10大ニュース)』、『冬季北京オリンピックの選手たちの活躍』に私たちは元気をもらいました。また、沖縄は本土復帰50年を迎えますがウクライナにおけるロシアの戦争犯罪を知らされると故橋田壽賀子さんの作品の根底に流れる「平和の大切さ」をつくづく考えさせられます。「今年こそは笑顔を取り戻したい」という私たちの思いをこめ「コロナ禍終息」を願っております。

さて、この2年、コロナによる制約をうけ例年のように活動はできませんでした。「総会後の懇親会」「クラブ交流会」等を復活させ、充実した、そして和やかな笑顔でつながる「泉陽会」を築きあげていきたいと思っております。

令和4年度の総会はコロナ防止に注意を払い、滞りなく、終了しました。本年度より新しく栗山 悟校長先生、校内幹事でご尽力いただいた荒木順子教頭先生をお迎えし心機一転、より一層同窓会活動を盛り上げていきたいと思っています。会員みなさまのご支援、ご援助をお願い申し上げます。

令和3年度の活動の主な内容を報告いたします。

敬具

記**●120周年記念事業に係る食堂空調機器設置について**

当校は令和2年に創立120周年を迎えました。「記念事業積立金」のを寄付につきましては学校側の切実に要望しておりました「空

調機器設置」について「学校側」と「執行委員側」数回話し合いの機会がもたれました。昨年4月の総会にて承認、令和3年7月22日より工事が始まり、8月19日試運転となりました。

9月9日(木)120周年記念事業の感謝状授与式が、行われました。

「食堂に空調が完備され、生徒達の喜ぶ姿に、校長以下、学校一同大変感謝しております。」とのお礼の言葉を頂きました。

「泉陽会」として後輩達に向け、有意義な記念品の贈呈に対し、心こもるお礼の言葉に今後130周年記念にむけ、私たちも更に頑張らねばと決意を新たにしておる次第です。

**●「名簿管理→業務委託」について**

「いづみ」発送シールの作成は従来の契約通り、・「いづみ」発送につきましては令和2年度、令和3年度ともに「コロナウイルス」の影響により(株)サラトに全面委託しました。

これからも検討を続けて、充実した運営をしていきたいと思っております。

●年会費のコンビニよりの送金を継続

令和3年度につきましてはスムーズに運営され、送金も例年よりUPしております。引き続き、泉陽会のみなさんのご送金お願いします。

コロナ禍の中。「むすびの会委員会」。「ゴルフ同好会」等の運営に対して担当者みなさんの継続しての日常の活動に感謝しております。今後もよろしくお願いします。

着任のご挨拶

泉陽高等学校 校長 栗山 悟

泉陽会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校へ多大なるご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

この度、3月末に富田林高校で定年を迎え、4月1日付で再任用として泉陽高校の校長を拝命しました栗山 悟(くりやまさとる)です。前任の武田校長先生の後を継ぐには力不足が否めませんが、泉陽高校の更なる発展のため教職員とも協力し合いながら取り組んで参りますので、どうかよろしくお願いいたします。

ところで私事で恐縮ですが、4月早々に教え子二人(ともに40歳半ば。他校卒業生)と私の3人で、定年祝いとクラス同窓会の打ち合わせを兼ね、泉陽高校近くのバルでカウンターに並んで夕食を楽しんでいました。教え子の一人が、自分の馴染みのお店ということもあり、カウンター内のシェフご夫妻に「高校の恩師(元担任)なんです。今は、泉陽の校長なんですけど」と口を滑らすと、奥様が「えっ！私も泉陽生です！！」とビックリ。すると続けて、私たちの隣で食事をされていたお二人連れも「えっ！私もです！！OGです！」と。更には「職場では、泉陽高校の音楽関係のクラブの生徒さんにいつも演奏頂いて、お世話になっているんです！」と泉陽の話題で大いに盛り上がりました。4月当初の同窓会総会でも感じたところでしたが、同窓生の皆様が母校を語るときの熱い思いに直に触れ、また、まさに地域に根差しながら大きな期待が込められた学校であることを実感した次第です。

その同窓会総会でもお礼を申し上げ、また実際に見学いただきましたが、食堂の空調設備のために多大なご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。食堂などの施設には府の予算でエアコン設置をすることはなかなか困難ですので、昼休みに限らず放課後も憩いの場や学習の場として利用する生徒たちにとっては本当に大きなプレゼントとなっています。年々暑さが増して気候変動を実感しているところでもあり、熱中症対策としても誠に有難い限りです。



総会では今春の進路実績などについてもご紹介させていただきました。詳細は本会報の別ページの通りで、国公立大学に129名が合格するなど74期生も見事な実績を残してくれています。数字に表れない特徴としては、例えばその129名が必ずしも学校成績において上位者とは限らず、仮に校内席次が芳しくなかったとしても、自らの志を貫いて国公立志望校の合格を獲得している生徒が少なくないということです。言い換えれば、泉陽生であれば国公立、私学を問わず、自らの志に沿った進路実現が可能となっているということでしょう。

本校の目指すところは「世のため人のため、世界のため」という社会貢献意識を強く持つ生徒を育み、その進路実現を叶えるところにあります。そのために今後も、生徒たちの「心を鍛え」「知を究め」「人と繋がり」「将来を描く」べく、教職員一同一丸となって生徒たちを支えて参ります。同窓会の皆様方におかれましても、母校に対して引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ありがとう 泉陽高校！

泉陽高等学校 前校長 武田温代

泉陽会の皆さま、4年間ありがとうございました。4年前、泉陽高校に校長として赴任し、初めての業務が4月1日に行われた泉陽会総会と懇親会でした。総会では、「君が代」斉唱に続いて、泉陽高校校歌と堺高等女学校校歌の斉唱があり、歴史と伝統のある泉陽高校の校長を務めることの重責を実感したことを今でもはっきりと覚えています。私の母親よりも年上の方々の気品と知性、そして元気溢れるお姿に、「頑張ろう！これから勝負！」と心に誓いました。

また、校長2年目の2019年5月には、泉陽会東京支部の総会に出席させていただきました。ちょうど、鈴木良之支部長から天野純一支部長へとバトンが渡された会でした。多くの泉陽高校の卒業生の方が首都圏でも活躍されている様子をうかがい、おいしい料理とともに楽しい時間があっという間に過ぎていったことを思い出します。

昨年、11月に堺北ロータリークラブで卓話をさせていただいた際には、泉陽高校のOBの方の計らいで、鈴木前支部長さまとお電話で話す機会があり、久しぶりに元氣な声を聞くことができました。

そして、校長3年目の2020年は泉陽高校創立120周年の記念すべき年でした。残念ながら、コロナ禍で記念式典と記念祝賀

会は中止になりましたが、記念事業として泉陽会から食堂の空調設備を寄贈していただきました。生徒たちは、エアコンの効いた食堂で、お昼や放課後のひと時を友人との会話を楽しみながら快適に過ごしています。泉陽会の皆さまには、多くの心遣いをいただき、ありがとうございました。



この4月7日に伊藤会長と酒井副会長が、入学式を終え、私の新しい職場に来てくださいました。泉陽高校を離れて、わずか1週間でしたが、とても懐かしく、穏やかな気持ちになりました。泉陽高校での4年間は様々なことがありましたが、温かい目で見守ってくださった泉陽会の皆さまのお陰で、無事校長としての任務を全うすることができました。心より感謝申し上げます。

私は、泉陽高校は創立120年を経た現在も着実に進化していると感じています。泉陽会の皆さま方におかれましては、引き続き泉陽高校のよき応援団として、見守ってくださいますようお願い申し上げます。今後も健康に留意され、またどこかでお会いできることを楽しみにしています。

幸せな4年間でありがとうございました。

泉陽会について

会長以下の執行部と、各期で任命された代議員並びに会員(卒業生のみなさま)によって構成される組織となっています。執行部は、ボランティアとしての活動ですが、会の目的である『本会は会員相互の親睦を図ると共に、母校の「進歩と発展」に寄与することを目的とする』を達成するために、それぞれの役割を持つ委員会と、会員相互の親睦を深める同好会が組織化され、活動を展開しています。年々、執行部のメンバーも高齢化してきており、そろそろ若いパワーも欲しいところです。興味のある方は、一度、執行委員会にでも顔を出してみてください(執行委員会は8月を除き、毎月開催しています)。

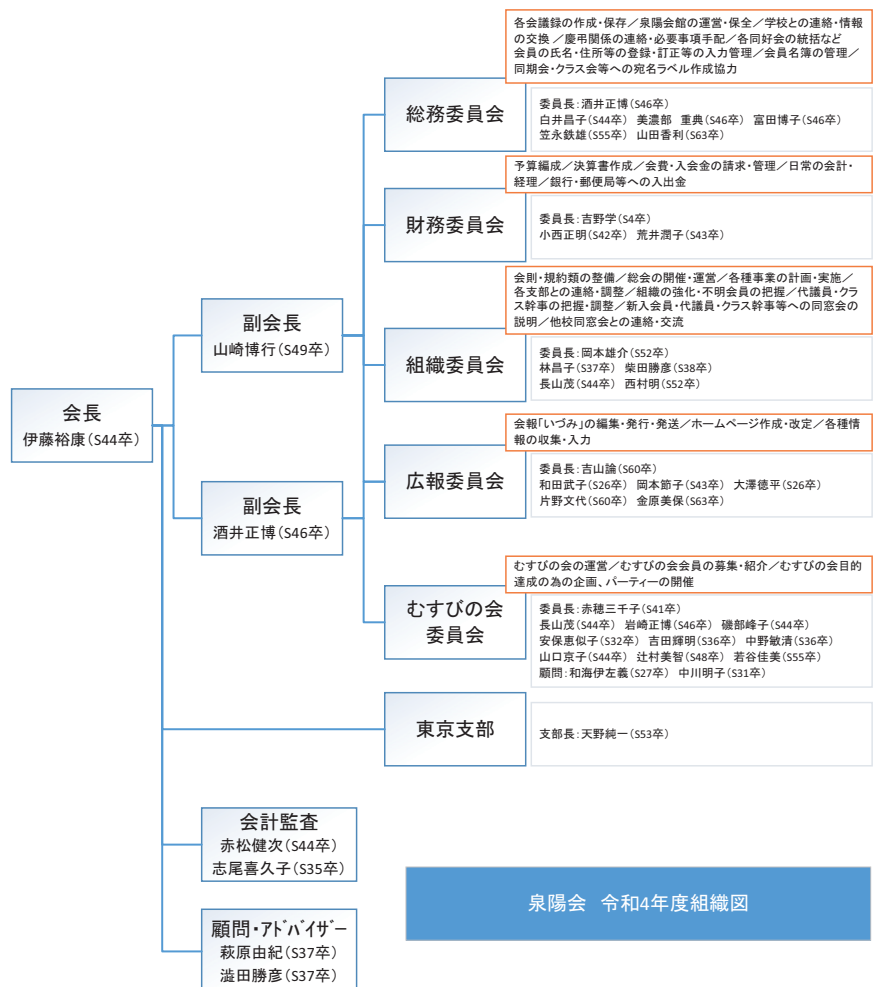
右記は現在の執行部の組織図です。役員並びに執行委員は、みなさまからお預かりした年会費を原資に、事業計画、予算に基づいて泉陽会の目的を実現するための活動を展開しています。無報酬の活動であり、母校愛？にねざした活動となっています。

会の運営については、定期的な会議体で各委員会、同好会の調整をはかり、定期的な代議員会議での諮問を受け、総会で承認を受ける形式となっています。令和3年度に、コロナ禍での総会開催が困難となったため、このような場合の議案承認の新たなルールが設定されました。

年間の主な行事は、次のとおりです。

- ・総会 年次開催(毎年4月)
- ・代議員会議(年3回 7月、12月、2月)
- ・委員長会議(月次開催／8月休会)
- ・執行委員会議(月次開催／8月休会)
- ・いづみ発送作業(毎年6月)
- ・公開講座(年2回)

総会と12月の代議員会議の日には、懇親会と忘年会を開催し、会員の交流を深めています(残念ながら、この数年は中止としています)。現在、同好会は、『晶子研究会』、『ゴルフ同好会』、『混声合唱団「陽」』の3つの活動が展開されています。以前は他にも多くの同好会があったのですが、会員の高齢化や減少で休止となっており、新たな有志による同好会の発足が期待される場所です。



泉陽会 令和4年度組織図

堺化学工業株式会社の矢部社長に聞きました



堺市にも多くの企業がありますが、堺駅のラウンドワン前にある堺化学工業をご存じでしょうか。なんとなく見たことがある方は多いかと思いますが、東京証券取引所プライム市場に上場している創業100年を超える企業です。現在、取締役社長を務める矢部正昭さんは、昭和53年卒30期の泉陽高校卒業生。これまで『いづみ』では、卒業生の企業紹介は掲載したことがなく、はじめての試みとして原稿をお願いし、ご快諾いただきました。

皆さん、初めまして！こんにちは！おそらく上場企業の中で、泉陽高校の最も近くに本社がある堺化学工業株式会社の社長を務めています、30期生の矢部 正昭です。



編集長の吉山さんとは30期生のゴルフ会(ブンブンゴルフ)を通じたご縁で、このような名誉ある機会をいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、母校の近くにある会社でありながら、ほとんどのビジネスがB to Bの形態であるがゆえ、どのような会社か馴染みがないかとお察し致しますので、はじめに堺化学工業(株)についてPRも兼ねご紹介させていただきます。

創業は今を遡ること104年前の1918年(大正8年)、鉛含有の白粉(おしろい)の健康被害が問題視されていた中、無鉛白粉の原料となる酸化亜鉛の開発に成功し、戎島町の地(堺駅前ラウンドワンの西向かい)で生産を始めたのが会社の興りです。

創業以来ものづくりのDNAを引き継いで『思いやりの心と技術革新で社会の快適と安心を支える材料づくり』にこだわり、『化学でやさしい未来づくり』をミッションとし、社員がワクワクして働いてこそ価値創造が実現できるとの考えより、社員が能動的で躍動感に溢れる『わくわくカンパニー』を目指している会社です。

連結子会社のカイゲンファーマは風邪薬『改源』などOTC医薬品も扱っていますが、当社製品の殆どは工業製品等の原料に使用される素材であります。一例を挙げれば、<日焼け止めなどのスキンケア化粧品>や<スマートフォンなどの電子・通信機器の主要部品>向けの原料として使用され、豊かな社会や人の健康、そしてクリーンな地球環境等々に貢献している会社です。(詳しくはホームページ: <https://www.sakai-chem.co.jp>をご覧ください)

私は1959年に堺市堺区で生まれ、1978年に泉陽高校を卒業し、大阪府立大学の化学工学科に進学、1982年に当社に入社しました。当時の人事担当部長に君は営業向きだと言われ、以来、創業製品である酸化亜鉛

の営業を皮切りに、磁気テープ用磁性酸化鉄、バリウム・ストロンチウム塩類、酸化チタンなど無機系製品の営業畑を歩み、事業部長を経験し今に至っています。

入社前は根っから地元・堺のローカル人間(今も変わっていませんが…)でしたが、磁性材担当時には提携先の米国の企業や韓国の顧客(財閥系磁気テープ製造メーカー)とのビジネスで、比較的若い頃から海外ビジネスを経験させていただきました。

はじめての海外出張(米国・バージニア州)では提携会社の工場の車(左ハンドルのリンカーン)を提供され、緊張と不安の中で宿泊ホテルから工場までを自力で通ったことや、休日に社員の友人のガン(銃)マニアと山中の空き地に机と空き缶を並べただけの練習場で本物のライフル銃やマシンガンで射撃を経験したことなど、今でも懐かしく思い出します。

また韓国や中国の会社とのビジネスでは言葉や文化の違いもあり、いつもハードな交渉を強いられ、失敗も多々あり厳しい経験を積みましたが、実戦を通してメンタル面の強化や交渉方法などを学ぶこととなり、その後の社会人としてのキャリアにはプラスになったと前向きに捉えています。

2010年9月に電子材料事業部長に就任し、当社の主力生産拠点である福島県いわき市小名浜に赴任しました。翌年3月11日に発生した東日本大震災で工場が被災、原発事故による大きな不安を抱えた中、一日も早い復旧に向け、社員や関係者が互いに協力して取り組み、5月連休明けにはすべての工場の操業再開に漕ぎ着けることができました。危機対応は特にリーダーシップが大事で、関係者に方向性を示し一枚岩で課題に取り組むことが重要であると痛感しました。

さて、高校時代の一番の思い出は、誠に悔しいことでしたが、今も同級生の間では語り草となっている高校野球夏の大阪大会3回戦でPL学園と対戦し大敗したことです。

前日の新聞には、「明日の泉陽対PLは伝統校と実力校の一戦で楽しみである」という内容の前評判が記載されており、私も含めチームは接戦の良い試合ができるのではと思いい試合に臨みましたが…。

住之江球場には泉陽高校の応援団はじめとした生徒、先生方、ご家族など大勢の方が応援に駆けつけてくれたにも拘わらず、試合は初回から一方的な試合となり5回コールド負け、後にキャプテンになった清水さんの唯一のヒットと、6-4-3のダブルプレイを取ったのが大敗の中での救いではなかったかと思えます。試合後、応援席から「もう一度最初からやれ」などの声が聞こえてきたことは今でも忘れられません。

また先生方に対する思い出も一杯あり、中でも世界史を教えていただいた鈴木先生(剣道部顧問?)との出来事が最も印象に

残っています。教師志望の女子大生が泉陽高校に来られて鈴木先生の授業の中で実習された時、その感想文に「鈴木先生の授業より明るくて楽しい」と書ききましたところ、普段は朴訥な感じで冗談とは無縁の鈴木先生の授業に変化があり、頑張ってる話され、受けない冗談も挟み楽しい授業に挑戦されたのです。一生徒の言葉に耳を傾け、自らの以前の授業に対する反省を述べられ、努力されている真摯な姿に驚きと深い尊敬の念を覚えました。(ありがとうございます。先生がご存命かどうか解りませんが、このことをお伝えしたいと以前から思っていました。)

現役の生徒や若いOBの方へのメッセージとして：今も通勤で泉陽高校の前を通過していますが、学校のフェンスに張られている生徒の活躍を示す横幕を眺めては、勉強だけではなく部活動も盛んな昔からの伝統が引き継がれていることを嬉しく思っています。

ご存じのMLB・大谷翔平選手の二刀流は日本のみならず野球の本場米国でも高く評価されています。無限の可能性を秘める若い皆さんは、色々なことにチャレンジされ自分の可能性を広げていただきたいと思います。時代の大きな変化点ですが、変化を恐れずに新たなことに挑戦する気持ちを忘れないでください。外国の諺に曰く『さなぎも変化しないと綺麗な蝶にはなれない』。少しでも何かの参考になれば幸いです。

未だに感染症の終息が見えない中、ロシアのウクライナ侵攻により世界の安全と平和に対する不安が高まり、一層不透明で不確実な時代に突入した感がありますが、社会の変化や不安も受け入れて進むしかありません。多感な3年間を過ごした母校を礎とした、公私にわたって交流が続いている同窓生や先生方とのご縁を大切に、微力ながら皆様と共に明るい未来に向けて前進できればと願っていますので、引き続きご厚誼のほど宜しくお願い致します。

会員各位のご健勝と泉陽会の益々のご発展を心からお祈り申しあげ、結びと致します。
(2022年4月9日記)

《略歴》

1959年 堺市堺区生まれ
1978年 泉陽高校卒
1982年3月 大阪府立大学工学部化学工学科卒(現大阪公立大学)
同年 4月 堺化学工業入社
2012年6月 同社 取締役就任
2014年6月 同社 代表取締役社長就任 現在に至る。

《趣味他》

中学生時代は陸上競技部に所属、高校時代は野球部に所属、2年生秋で退部
現在 ゴルフ、ウォーキング、スポーツ鑑賞、読書など

令和3年度事業報告

1. 事務局

◎会議(執行委員会、代議員会)の状況の報告

●執行委員会

	年 月 日	内 容
第1回	令和3年4月17日	新型コロナウイルス感染予防の為中止
第2回	令和3年5月15日	新型コロナウイルス感染予防の為中止
第3回	令和3年6月19日	委員会報告
第4回	令和3年7月17日	委員会報告
第5回	令和3年9月4日	新型コロナウイルス感染予防の為中止
第6回	令和3年10月16日	委員会報告
第7回	令和3年11月20日	委員会報告
第8回	令和3年12月11日	委員会報告
第9回	令和4年1月15日	委員会報告
第10回	令和4年2月19日	委員会報告、令和3年度決算報告 令和4年度事業計画案について
第11回	令和4年3月19日	委員会報告、令和3年度事業報告

●代議員会

	年 月 日	内 容
第1回	令和3年10月16日	委員会報告、総会報告
第2回	令和3年12月11日	委員会報告 令和4年度事業計画案について
第3回	令和4年2月19日	委員会報告、令和3年度決算報告 令和4年度事業計画案について

◎会館使用状況の報告

泉陽会館 使用状況(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

主なものを記載

- ・執行委員会(代議員会含む)8回
- ・床清掃 7回
- ・同窓会 120回
- ・学校 167回(内訳 同窓会関係ーむすびの会、混声合唱団「陽」、コール・いづみ、コール・ドラフト、混声合唱団「ひだまり」他/学校関係ーダンス部、校長会、PTA実行委員会 他)

◎名簿関係

- ・73期の卒業生は学校側から資料を頂き、株式会社サラトに資料を送り、データを入力してもらいました。
- ・株式会社サラトにホームページ等にて住所変更を連絡しました。
- ・逝去の方に関しては電話、FAX等で同窓会館に連絡があるので、担当者が確認し、株式会社サラトに連絡しました。
- ・会報「いづみ」の発行後、代議員の方に住所不明者を連絡し、新住所の調査を依頼しました。

	令和4年3月末	令和3年3月末
総会員数	39,021名	38,661名
新会員数	357名	355名
物故者数	4,370名	4,190名
いづみ発送部数	22,101名	22,681名
戻り部数	338名	712名

2. 組織委員会

◎総会

コロナ禍に対して、措置をとり、総会が無事終了しました。

- ・開催日時：令和3年4月4日(日)
 - ・開催場所：泉陽会館 2F 集会室
 - ・出席人数：・校長・教頭・事務長・元校長 6名
・執行役員 24名
・代議員・会員(S26～S55卒)11名 計41名
- 令和2年に創立120周年を迎え、懸案事項であった「記念事業積立金」の最終案「食堂空調機器設置」については、可決・承認され、令和3年8月から稼働されております。

◎「公開講座」の開催について

開催日時：令和3年12月11日(土)

開催場所：泉陽会館 2階

参加者：45名(水泳部OB 32期生 泉陽会員)

講演者：若谷佳美(昭和55年卒32期生 朗読家 フリーアナウンサー)

テーマ：

●『声を出して心も体も健康に』

- ・参加者のみなさんご家庭でできる発声・滑舌の練習をしました。
- 『与謝野晶子』の作品「嘘ばかり」の朗読
明治27年 堺女学校補習科卒業 ・歌人、詩人。評論家
- 『西 加奈子』の作品「カイロのたまごかけ」の朗読
平成8年卒48期 作家 小説家(直木賞作家)
- ・イラン・テヘラン生まれ。エジプト・カイロ、大阪育ち。
- ・雑誌「今日の料理」(NHK)「ごはんグルリ」で連載されていた食べ物料理を一冊に纏めている最新刊。

◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回開催について

- ・令和元年6月に開催され、「是非次回の開催を」との要望を取り入れるよう検討しましたが、コロナの状況下では開催は不可能と断念しました。

◎三国丘高校との交流会について

- ・現役・OBによる三国丘高校とのサッカーの交流試合は令和3年7月20日に行われました。
- ・ハンドボール部は3月20日に試合が行われました。
- ・野球部の定例会は延期になっていますが、開催する予定です。

◎「二十歳の会」成人式を迎える卒業生の同窓会の報告

開催日時：令和4年1月5日

開催場所：ホテルアゴーラ・リージェンシー堺

対称卒年：令和2年卒・72期生

参加者数：256名(卒業生 360名)(教職員7名の参加を頂きました)

例年通り、泉陽会から、通信費等の若干の支援をしました。

3. 広報委員会

◎広報誌いづみの価値向上

●(計画)

コロナ禍の影響で投稿記事が大幅に減少することが予想されます。また、令和2年度分の発行から同3年度分発行までの期間がいつもより短いことも記事量の低下につながる可能性が高いです。

その中でもなんとか充実した誌面づくりを目指します。

●(結果と課題)

活字を少し大きめにしたことも奏功し、全体的な満足度の向上がみられました。ただ、読みやすさについては引き続き不満があるため、解消が課題となります。

読後アンケートは昨年と同様、13件のご意見をいただきました。回答者が比較的若い世代にまで広がり、表紙に掲載することで反応率が向上したと考えられます。

『泉陽会のことはよくわからないけど、わかるように少しずつしていきたい』、『コロナ禍の大変な状況の中、お疲れ様でした』、『私、転勤で初めて大阪配属になりました。何年いられるか分かりませんが、できる限り泉陽会にコミットしたいです！』、『同窓会の友達を誘って気軽に参加できる企画があったら参加したいです。どんな活動があるのか知りたいです』といった前向きなご意見が寄せられました。

◎ホームページのアクセス数増加の取り組み

●(計画)

- ・少なくとも月1回の更新を目標とします。
- ・ホームページ更新担当者を増員します。
- ・記事募集のルートを新規に作成します。

●(結果と課題)

いずれも未実施となりました。次年度も継続課題とします。

4. 財務委員会

- ・令和3年度、入出金の管理
- ・年会費のコンビニ支払いを継続

5. むすびの会委員会

◎令和4年1月末現在会員数

- ・男性 27名(入会者 5名)
- ・女性 31名(入会者 6名)

◎平成6年発足より令和4年までの成立 129組

◎会員閲覧

第2、第4 土曜日14時～16時 予約制で実施
(尚、緊急事態宣言中は休会しました。)

◎お見合いの立会い 14件

6. 同好会

6.1 晶子研究会

◎「晶子フォーラム」の開催について

令和3年6月5日～7日開催との案内状を晶子倶楽部事務局からうけましたが、開催延期の連絡を受け、会員の皆様へはホームページにてお伝えしました。予定通り、10月6日～11日、会場「利晶の杜」にて開催されました。

6.2 ゴルフ同好会

定例会合	開催日時	開催場所	優勝者
第138回	令和3年3月19日	天野山C.C.	岩橋 正(S37年卒)
第139回	令和3年5月14日	天野山C.C.	山手俊男(S33年卒)
第140回	令和3年9月10日	天野山C.C.	岩橋 正(S37年卒)
第141回	令和3年12月3日	天野山C.C.	中井泰三(S40年卒)

6.3 混声合唱団「陽」

◎令和3年度活動報告

- ・練習回数 12回(内泉陽会館使用 10回)
- ◎ステージ回数 1回
 - ・大阪府合唱祭 令和3年1月16日(日)
大阪狭山市SAYAKAホール
 - ・関西混声合唱フェスティバル 令和3年3月20日(日)
豊中文芸ホール(中止)

令和4年度事業計画

1. 総務委員会

今年度の計画

令和4年度日程を作成、これに基づき活動する

- ・事業継続(在校生支援活動)
- ・会議 執行委員会 年8回(1月、6月、8月は休み。)
代議員会 年3回(会議開催の前日の金曜日の午前中に清掃業者による床清掃 8回)
- ・慶弔規程により電報等の発信
- ・卒業証書入れ(A4両開きファイル)贈呈
- ・各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- ・会館運営管理
- ◎名簿管理
 - ・業務委託の株式会社サウトとデータを共有し、会員からの情報等によりデータを最新に保持
 - ・74期の卒業生の資料を学校からいただき、株式会社サウトに送付する。
 - ・ホームページを使った方法で住所変更を行う。
 - ・広報誌「いづみ」を発行後の住所不明者は代議員に調査依頼を行う。

2. 組織委員会

◎令和4年度の総会開催について

◎「公開講座」年2回実施について

◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回の開催について

※上記4件の課題に付きましてはコロナの状況を判断の上、開催をお知らせします。

◎「二十歳の会」の支援

引き続き成人式を迎える卒業生の同窓会に対し、支援をします。

3. 広報委員会

◎広報誌いづみの価値向上

- ・コロナ禍の影響で投稿記事が大幅に減少することが予想されます。その中でもなんとか充実した誌面づくりを目指します。
- ・アンケートのご意見より、泉陽会の活動案内、活動企画の募集記事を掲載します。

◎ホームページのアクセス数増加の取り組み

- ・少なくとも月1回の更新を目標とします。
- ・ホームページ更新担当者を増員します。
- ・記事募集のルートを新規に作成します。

4. 財務委員会

- ・令和4年会計年度における入出金の管理
- ・泉陽会活動サポート寄付システムを構築

5. むすびの会委員会

◎コロナ収束まで行事(秋の会員と委員懇親会、新春の懇親会、公開閲覧会)を行わない

◎会員の閲覧

第2、第4土曜日 14時 予約制で行います。尚、緊急事態宣言中は休会します。

6. 同好会

6.1 晶子研究会

令和4年度の「晶子フォーラム2022」の開催の予定について

- ・5月14日～6月5日 会場；さかい利晶の杜
ギャラリー展；絵画、書道等
- ・6月4日(土) 会場；フェニーチェ堺
タイトル；晶子クラブ設立25周年記念講演

6.2 ゴルフ同好会

定例会合(年4回) 令和4年3月18日／令和4年5月13日
令和4年9月2日／令和4年12月2日

6.3 混声合唱団「陽」

◎令和4年度活動予定

練習回数 24回(内泉陽会館使用予定 22回)

◎ステージ回数2回

- ・大阪府合唱祭 令和4年6月12日(日)
大阪狭山市 SAYAKAホール
- ・関西混声合唱フェスティバル 令和5年2月5日(金)
豊中文芸大ホール

令和3年度収支決算報告(令和3年1月1日から令和3年12月31日) 令和4年度予算(令和4年1月1日から令和4年12月31日)

収入の部				支出の部					
科目		令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	科目		令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
入会金		3,213,000	3,195,000	3,213,000	組織委員会	総会費	100,000	30,800	100,000
年会費		4,200,000	6,010,000	4,500,000		事業費	300,000	110,550	300,000
預金利息		1,000	42	1,000	総務委員会	事務費	900,000	1,084,784	650,000
その他収入*1		30,000	158,170 (明細A)	30,000		会館運営費	200,000	682,971	200,000
総会懇親会負担金		0	0	0		会合費	150,000	59,600	200,000
むすびの会		100,000	100,000	50,000	財務委員会	慶弔費	50,000	20,000	50,000
前年度繰越金		3,918,457	3,918,457	7,462,101		親睦費	200,000	150,000	200,000
合計		11,462,457	13,381,669	15,256,101		教育振興費	400,000	200,000 (明細B)	400,000
						卒業記念品	300,000	278,675	300,000
						振込料等	250,000	343,453	250,000
明細A その他収入				金額	広報委員会	印刷代	1,400,000	539,550	600,000
寄付 稲田敏子様(S15年卒)ご家族				50,000		発送費	1,600,000	2,288,533	2,500,000
寄付 泉睦会(旧職員親睦会)				108,170		IT管理	200,000	0	400,000
					むすび委員会		200,000	130,652	200,000
合計				1 8,170	修繕積立金		0	0	0
明細B 教育振興費				金額	記念事業積立金		0	0	1,000,000
定期発表会(吹奏楽部、音楽部、軽音楽部、弦楽部、ダンス部、ストリートダンス部)				100,000	小計		6,250,000	5,919,568	7,350,000
ダンス部・日本高校ダンス部選手権				30,000	予備費		5,212,457		7,906,101
女子バレー部近畿大会出場				10,000	次年度繰越金			7,462,101	
水泳部・近畿選手権出場				20,000	合計		11,462,457	13,381,669	15,256,101
ソフトボール部・近畿公立学校大会出場				10,000	特別会計(空調設備工事)			11,880,000	
弦楽部・全国高校文化祭出場				30,000					
合計				200,000	(単位：円)				

(単位:円)

120周年 記念事業《食堂に空調設備が設置されました!》

新型コロナ禍の影響で、120周年記念事業の祝賀会などは開催ができませんでしたが、高校より要望のあった食堂へのエアコン設置については、予定どおり竣工することができました。会員のみなさまの会費納入などを原資として、母校に貢献ができたこと、改めて感謝申し上げます。

2021年8月、食堂にエアコンが設置完了しました。エアコンの数は5台でダイキン製、施工は地元の山下商会さんです。丁寧な施工、ありがとうございました。

9月9日に校長室で贈呈式を行いました。伊藤会長が目録を学校に渡し、武田校長より感謝状を頂きました。1年遅れの完成になりましたが、無事に完了し、ほっとしています。

夏は扇風機で涼を、冬はストーブで暖を取っていました。エアコンがついて、生徒は大喜びでもちろん先生方も快適に食事をしています。又、厨房には設置していないのですが、調理の方も大変喜んでいて意外でした。お礼を何回も言われました。

少し風が流れるのかな?生徒も増えるし。

残念ながら今回は新型コロナウイルスの影響で祝賀会、懇親会等が出来ませんでした。次は130周年事業でしょうか?様々な行事が出来るように祈っています。同窓会、後輩に喜ばれる事業を継続していきたいと思っています。



大阪府立の高校では、食堂に空調のあるところが少ないそうで、4月の総会では、新校長からも感謝のお言葉をちょうだいしました。

令和3年度 広報誌いづみ(第53号) 読後アンケート

令和3年度の読後アンケートの結果は、下記のとおりです。『字が小さくて読みにくい』とのこと意見に対し、フォントの変更と文字サイズを多少大きくしたことを評価いただいたようです。若い読者の方からのご意見もいただいております。改善を続けていきたいと思ひます。

1. 回答件数

昨年度	回答13件(21～30期5件／31期～69期8件)
今年度	回答13件(21～30期4件／31期～69期9件)

回答の年度が、比較的若い世代まで広がってきている。表紙に掲載することで、反応率が向上したと考えられる。読まなかった方からも3件(1件は訃報連絡)の回答が寄せられた。

2. 【Q02】よかった記事を教えてください(複数回答可)

橋田壽賀子さんの訃報記事は多くの方が評価されていた。泉陽会、いづみの歴史はあまり評価がなく、傾向的には卒業生に関する記事についての評価が高い傾向がある。

3. 【Q03】どのような記事に興味がありますか(複数回答可)

卒業生の活躍、活動に関する記事(9件)、卒業生のお店、会社に関する記事(5件)と、卒業生に関する記事が比較的多い傾向がある。これまで掲載ができていない期の卒業生に関する記事を、できるだけ掲載し、いづみの購読の動機付けに結びつけたい。

4. 【Q03】その他の記事へのご要望

- ・ここ数十年、会費を払ってなくてごめんなさい? にもかかわらず、お届けくださり感謝しております。
- ・コロナ禍が早く終息して同窓生の活動記事が増えるよう期待しています。
- ・いづみの歴史の記事を特に興味持って読ませて頂きました。できましたら過去のいづみをHPで閲覧できればありがたく存じます。
→第37号(2005年発行)以降につきましては、ホームページ(会報いづみ)に掲載していますので、ご活用ください。それ以前のいづみについても、掲載を検討します。
- ・数居の低い企画があったら嬉しいなと思っています。

→今年の読後アンケートに、企画募集の項目を設けてみました。ご意見やご要望などありましたら、ぜひお寄せください。

4. 満足度

	令和3年度	令和2年度
記事の量	満足7／普通3	満足7／普通6
記事の質	満足8／普通2	満足6／普通7
読みやすさ	満足4／普通5／不満1	満足2／普通7／不満4
総合満足度	満足6／普通4	満足6／普通7

全体的な満足度は昨年度より向上している。読みやすさについては引き続き不満があるため、解消が課題である。

5. その他のご意見

- ・私、転勤で初めて大阪配属になりました。何年いられるかわかりませんが、できる限り泉陽会にコミットしたいです!
- ・同窓会の友達を誘って気軽に参加できる企画があったら参加したいです。どんな活動があるのか知りたいです。
- ・コロナ禍の大変な状況の中、お疲れ様でした。
- ・泉陽会のことはよくわからないけど、わかるように少しずつしていきたい
- ・本人が亡くなったので会報の送付を止めて頂きたいと何度かご連絡させて頂きましたが今年も届きました。こういったご連絡はどちらに差し上げればよろしいのですか?
→会員情報の変更、ご逝去のご連絡につきましては、泉陽会への電話、FAX並びにホームページからの連絡をお願いします。

令和3年度 教職員異動

2022. 4. 1 現在

転 出					転 入				
職名	教科	氏 名	転出先	備 考	職名	教科	氏 名	転入元	よみがな
校長		武田 温代	大塚高(再任用)		校長		栗山 悟	富田林高(再任用)	くりやま さとる
教頭		藤原 大	寝屋川高定時制		教頭		荒木 順子	本校(教諭)	あらき じゅんこ
教諭	国語	石川 尚久	—	再任用満了	教諭	国語	岩久保翔吾	新規採用	いわくぼ しょうご
	地歴公民	板橋 雪	—	退職		国語	中岡 志穂	鳳高	なかおか しほ
	地歴公民	川越 芳信	本校(非常勤講師)	再任用満了		地歴公民	篠部 楓	桃谷高(通信)	しのべ かえで
	数学	東畑 勇作	高津高			地歴公民	明山 寛之	淀川清流高	あきやま ひろゆき
	理科	吉田 晶子	住之江支援			地歴公民	砂川 航大	新規採用	すながわ こうだい
	保健体育	源野 幸治	—	再任用満了		数学	鈴木 悟	阪南高	すずき さとる
	英語	角川 摩利	教育センター附属高			理科(化学)	中原 克仁	堺工科高(再任用)	なかはら かつひと
	家庭	荒木 順子	本校(教頭)			英語	中尾 牧子	福泉高	なかお まきこ
	養護教諭	荒木 夏子	高等学校課生指G			家庭	田中 香織	美原高	たなか かおり
講師	地歴公民	小林 正彦	—	退職	再任用	国語	岩本 幸一	本校(定年退職)	いわもと こういち
	数学	上田 光男	本校(常勤講師)	退職	養護助教諭		伊藤久美子	東住吉高(再任用満了)	いとう くみこ
	理科	杉中 周平	本校(常勤講師)	退職	講師	地歴公民	中小路伸矢	本校(非常勤講師)	なかこうじ しんや
	英語	安達 洋子	本校(常勤講師)	退職		数学	上田 光男	本校(退職)	うえた みつお
校務員		清水二三代	—	退職		理科(生物)	杉中 周平	本校(退職)	すぎなか しゅうへい
					校務員	英語	安達 洋子	本校(退職)	あだち ようこ
							中野 聖司	吹田支援	なかの せいじ

令和3年度(74期) 母校の進路状況

国公立大学合格者数

大学名	学部名	2022年度	
		現役	既卒
北海道	農・文・理	2	2
千葉	教育・農	1	1
お茶の水女子	生活科学	1	
東京海洋	海洋工	1	
電気通信	情報理工		1
新潟	工	1	
富山	理・工	1	
金沢	人間社会・理工・医療保健	2	1
信州	保健・工・農・理・繊維・人文	1	1
静岡	工・情報・教育・農	1	
名古屋	工・農・経済		1
三重	生物資源・工・人文・看護	3	2
京都教育	教育		1
京都工芸繊維	工芸科学	2	
大阪	外国語	3	1
	理・工・基礎工	3	2
小 計		6	3
大阪教育	教育	14	2
	経済・経営・法		1
神戸	国際文化・文・国際人間	2	
	理・工	5	2
	小 計	7	3
奈良教育	教育	1	
奈良女子	文・理・生活環境	1	
和歌山	観光	2	
	経済	11	4
	教育	5	
	システム工	9	
	小 計	27	4
鳥取	工・農・生命科学・保健	2	
岡山	法・工・経済・薬・文・保健	1	1
広島	経済・工・理・文・法・教育	1	1
高知	教育・農・看護・地域協働	1	
国 立 大 学 合 計		77	24

私立大学の合格者数

大学名	2022年度	
	現役	既卒
昭和女子	1	
北里	1	1
駒澤	1	2
中央	1	
東京理科	2	2
順天堂		1
日本女子	1	
法政	4	
神奈川		1
明治	2	2
神田外国語	1	
立教		2
名城	2	
京都外国語	4	
京都産業	4	1
京都女子	11	
京都芸術	1	
京都橘	1	
京都薬科	1	
同志社	39	14
同志社女子	25	1
立命館	43	19
龍谷	40	8
追手門学院	13	
大阪大谷	7	
大阪経済	3	4
大阪経済法科		2
大阪芸術	1	
大阪工業	25	4
大阪産業	23	
大阪樟蔭女子	3	
大阪成蹊	1	
大阪電気通信	4	
大阪医科薬科	4	1
関西	185	25
関西医科	5	
関西医療	6	
関西外国語	12	
近畿	263	56
四天王寺	11	
摂南	30	
帝塚山学院	15	
梅花女子	1	
桃山学院	26	3
桃山学院教育	4	
森ノ宮医療	1	
大和	12	
関西学院	105	11
甲南	9	1
甲南女子	8	
神戸女学院	2	
神戸女子	2	
神戸薬科	2	1
兵庫医科	3	
武庫川女子	83	
畿央	38	
帝塚山	1	
奈良	2	
立命館アジア太平洋	3	
私立大学計	1,098	162

関関同立近の合格者数

大学名	学部名	2022年度	
		現役	既卒
同志社	神		
	文	10	1
	社会	5	
	法		
	経済	1	3
	商	5	
	政策	2	
	文化情報		1
	理工	11	8
	生命医科学	1	
立命館	スポーツ健康科学		
	心理		
	グローバル・コミュニケーション	2	
	グローバル地域文化	1	1
	計	38	14
	文	1	
	産業社会	5	3
	国際関係	2	
	法	5	1
	政策科学	4	
関西学院	経済	3	
	経営	16	1
	情報理工	1	
	理工	1	11
	生命科学		1
	薬		2
	映像		
	食マネジメント		
	スポーツ健康科学		
	総合心理	5	
関 西	計	43	19
	神	1	
	文	8	1
	社会	12	
	法	11	3
	経済	12	
	商	9	2
	人間福祉	9	
	国際	2	
	教育	14	
近 畿	総合政策	3	1
	理・工	14	2
	生命環境	7	
	建築	3	2
	計	105	11
	法	17	5
	文	22	1
	経済	14	
	商	11	
	社会	23	1
近 畿	政策創造	8	1
	外国語	2	
	人間健康	5	
	総合情報	6	3
	社会安全	2	
	システム理工	40	8
	環境都市工	14	4
	化学生命工	21	2
	計	185	25
	法	21	8
近 畿	薬		
	経済	17	2
	経営	26	18
	理工	70	7
	農	25	6
	建築	7	1
	文芸	11	1
	総合社会	33	4
	国際	9	
	生物理工	22	6
近 畿	工	5	
	医		
	情報	16	3
	産業理工	1	
	計	263	56

大学名	学部名	現役	既卒
名古屋市立	薬・芸術工	1	
滋賀県立	工・人間文化・環境科学・人間看護	1	
京都府立	生命環境・文・公共政策	1	
京都府立医科	医(看護)		
大阪公立 (2022~)	文	3	
	法	2	
	経済	3	
	商	1	
	医(看護)	5	
	工	10	
	現代システム科学・知識情報	1	
	現代システム科学・環境システム	1	
	生命環境科学・応用生命科学	2	1
	地域保健学・理学療法	2	
	地域保健学・作業療法	2	
	地域保健学・教育福祉	1	1
	小計	33	2
	外国語	1	
	外国語(第2部)		
神戸市外国語	看護	1	
神戸市看護	商経・環境人間・社会情報	3	1
兵庫県立	理・工	1	2
奈良県立	看護		
	看護	3	
奈良県立医科	看護	1	
和歌山県立医科	保健看護	1	
県立広島	生命環境・保健福祉	1	
広島市立	情報科学		1
尾道市立	経済情報	1	
山口東理科	工	1	
高知県立	文化	1	
高知工科	システム工・情報	1	
公 立 大 学 合 計		52	6

国 立 大 学 合 計	129	30
	159	

令和4年卒 74期代議員クラス幹事のご紹介

今年も泉陽会にフレッシュな仲間が増えました。若い力で、ますます泉陽会の発展にご協力をお願いします。太字は代議員です。

- 1組 石関将成 成瀬紀乃
 2組 猪ノ口駿 山口紗輝
 3組 鎌田夏希 木村拓夢 中野花笑
 藤崎ひなた 満島加奈
 4組 馬殿舞都璃 牧之瀬琴
 5組 植野春菜 角谷和奏 藤井悠翔 山中悠己
 6組 北野太一 住谷心咲
 7組 上垣内匠 川上似姫
 8組 大塚咲英 小川未殊 木村颯大
 莊保杏香里 二羽祐大
 9組 石崎廣大 伊集咲沙郎 彦阪麻矢
 山下真依 西上慎一



東京支部 活動報告

東京支部より活動報告をちょうだいしました。昨年度はコロナ禍の影響で、例年の行事を縮小せざるを得ない状況となっていたとのことです。一日も早く、いつもの活発な東京支部に戻ることを祈念しています。

東京支部長 天野純一(昭和53年卒30期)
会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。早速ですが2021年度の活動報告をさせていただきます。

残念ながら本年度もコロナ禍の収束をみることができず、先期に引き続き春の江戸・東京さんぽ、5月の総会ともに中止とせざるをえませんでした。

冬隣りを迎え大幅に感染者が減少したところで、11月27日土曜、江戸・東京さんぽは実施させていただきました。

さんぽの地は清澄庭園。そもそも江戸の豪商・紀伊国屋文左衛門の屋敷跡と言い伝えられ、享保年間には下総国関宿の藩主・久世大和守の下屋敷となり明治11年、岩崎弥太郎が買い取り、13年に「深川親睦園」として竣工しました。弥太郎亡き後も造園工事は進められ、隅田川の水を引き「大泉水」を造り、周囲には全国から取り寄せた名石を配し、「回遊式林泉庭園」として完成をみました。庭園は関東大震災で大きな被害を受けましたが、避難場所としての役目も果たし、多くの人命を救いました。岩崎家の人々は庭園の持つこの防災機能を重視し、大正13年比較的破損の少なかった東部分を公園用地として東京市に寄付し、整備を重ね現在の「清洲庭園」となっています。

春には桜を楽しむことができ、我々が訪問したこの日はまさに銀杏の黄葉の真っ盛り。晩秋の気持ちのいいひと時を過ごすことができました。



さんぽ終了後は、地下鉄・大江戸線にて「月島駅」に移動し、「もんじゃ・お好み焼きコース」を20名全員で堪能させていただきました。関



西在住の方で上京して未知の「もんじゃ焼き」を楽しみたい方は、ぜひ私共にご一報ください。完璧な「もんじゃ」の焼き方をご指導させていただきます(笑)

年が明け2022年となり、「オミクロン株」の影響で患者数がまたまた激増する状況となっておりますが、これは一部の専門家の唱えるように集団免疫獲得への道程ととらえ、新型コロナが単なる「風邪」となり下がり、禍前の健全な社会生活に舞い戻り、皆さんと楽しい同窓会を開催できることを心より祈りたく存じます。皆さんも、くれぐれもご自愛ください。

～ 卒業生は今 ～

昭和30年卒7期生の長井徳郎さんより、『金剛登山 八千回達成!!』の記事をお寄せいただきました。

私が泉陽高校に入学した年は、金剛登山を実施していました。私が体験したのは唯の一度だけでその後なくなりました。その時は、河内長野駅から千早城跡まで歩き、頂上まで登れなかった。それが心残りでした。

その頃、山へ行く人は、河内長野からバスで小深まで行き、そこから坂道を歩いて行きました。真っ暗な旧のトンネルや急な階段を上って城址まで行きました。ここから現在の道に合流するのですが、道幅は半分ぐらいでした。二合目と五合目には茶店がありました。その頃から、一年に一回は、成人の日に登ることに決めました。学校に就職してからは、耐寒訓練で登る機会もありました。次に転勤した学校でも実施していました。私が見に行く時、先輩から「このカードに押印もらってきてくれ」と頼まれました。この時初めて私もカードを作ったのです。それが昭和四十三年一月十四日でした。

その後、頂上に百回以上の登山者名と住所を記した札が掲示されました。驚いたことに、トップの人と上位にいるご夫妻は、泉大津の人でした。これに刺激されたのは事実です。休日はできる限り登るように努めました。回数が

ふえるに従い、山仲間や後押しをしてくれる人もふえました。二千回に達したときに金剛山のすばらしさを記した「金剛山に魅せられて」という冊子を作り、周りの人に配って読んでもらいました。また、感謝の集いもフリースタイルで催しました。

その後、勤めが終わってからは、ほぼ毎日のように登りました。一年に三百三十回ぐらいの回数が十数年続きました。五千回に達した時、この調子が続けば、八十歳で八千回に達すると思いました。ところが、予想が外れてしまいました。年齢が八十歳に



なる前に、電車(泉大津～天下茶屋)に立ちん坊で行けなくなったのです。いつものリズムで帰宅するには、電車で座って行ける土・日曜日しかなかったのです。そのため、八千回達成は半年近く遅くなりました。それが平成十七年九月十三日でした。

泉陽会の皆さん、一度金剛山に登ってみてください。そして続けて下さい。きっとすばらしいということが体感できるでしょう。

同窓会報告・伝言板

コロナ禍の影響で、今年も同窓会に関する記事はほとんどありませんでした。各期とも自粛や延期を余儀なくされたようです。来年度は、たくさんの笑顔の記事が届くことを期待しています。

泉陽31期生(昭和54年卒)の皆様 学年同窓会のご案内

同窓会幹事一同

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

2年前、「還暦同窓会」と銘打って華々しく節目の同窓会を計画しておりました。皆様も楽しみにしておられたことと思います。

しかし、ご承知の通り、憎っき新型コロナのために2度も延期を強いられてしまいました。今年こそはと願いを込め、下記の通り同窓会を計画しました。

とはいえ、数ヶ月先の状況が読めないコロナ禍。緊急事態宣言、あるいはまん延防止措置が発動された際には、さらなる延期は避けられないことはご承知願います。

なお、詳細および出欠確認については、7～8月に送付する往復葉書をご覧ください。

記

開催日時：2022年9月24日(土)

15:00～

場所：南海グリー(堺市堺区車之町西)

情報発信SNS

* Facebook「泉陽高校31期生」

(閲覧希望の方は辻村浩樹、または栗本奈津子に友達申請してください)

* LINE「泉陽31期還暦同窓会」

(閲覧希望の方は辻村(ID19600911)、または栗本(ID ms.summertime)に友達申請してください)

お会いできる時を楽しみにして 昭和46年卒23期生

代議員 長谷川雅幸

阿比野節子

今年も桜満開を愛でる事ができました。

といっても、桜を愛でながらの会食ではなく、マスク着用しての散策でした。

私たちは、今年70才(古希)を迎えます。この記念すべき年に、「学年同窓会の開催」を組幹事等にメールにて相談しました。「会いたいなあ…」、「もう少し延期」、「withコロナ」、「インフルエンザ並の扱いになれば…」等。昨今の状況でも工夫して開催を…という声がありましたが、多数は開催を見送るというものでした。

今年度は、「学年同窓会の開催」はしません。お会いできる時が、必ずやってくると思っています。

34期生(昭和57年卒業) 同窓会延期のお知らせ

34期幹事長 星屋博子
幹事一同

来年5月に予定していました第7回同窓会は、秋以降に延期致します。

30期生同窓生定例コンペ 開催報告

森 繁雄(昭和53年卒30期)

毎年春と秋に開催しているぶんぶんゴルフ倶楽部定例コンペも第18回を迎えました。約10年前に30期学年同窓会でクラブも振ったこともなかった数人の女子が『ゴルフがしたい!!』との強い要望から始まったゴルフサークルです。

その女子たちもいっばしのゴルファーになり、スコア100切りの強者に成長しています。30期同窓生が中心ですが、現役時代にお世話になった恩師や同窓生の旦那様、30期以外の泉陽高校卒業生も参加し、年々参加者が増えております。

第18回は、2022年3月20日に6組22名の参加者で、河南町のワールドカントリーゴルフクラブで行われました。天候もよく、わいわいガヤガヤとラウンドを楽しませていただきました。



泉陸会(旧職員の集まり)の解散について

泉陸会 初期 澁田勝彦(14期)

昭和62年6月に、教職員の親睦と泉陽高校の幸運と隆昌に資するために結成されました。

2年に一度の会合(会員115名)を18回開催してきましたが、近年親睦会員の加入もなく、会員の高齢化にともなう体調不良により、出席者の減少傾向が増えて参りました。

そこで、令和3年11月14日に最後の泉陸会を開催して、解散いたしました。

特に、印象に残ることとして、泉陽高校創立115周年記念の年に、同窓会、PTAと協力して、学校に新しい校旗を寄贈したことです。

なお、残金は泉陽会に寄付いたしました。



卒業生クラブだより

サッカー部

OB会会長 出口博章(昭和47年卒24期)

新型コロナの影響で十分な活動はできていません。昨年は1月3日の初蹴りは中止しました。夏の三国丘高校との定期戦(川淵杯)は7月18日にJグリーンで何とか実施することができました。現役の試合は泉陽が昨年に続き勝利しました。OBも暑い中親善試合を楽しみました。初蹴りには例年温かい豚汁などをマネージャーが準備して頂いていますが、今年は、振舞うことができず残念でした。しかし、たくさんのOBが参加して頂けたので、賑やかに初蹴りができました。今年の三国丘高校との定期戦は、8月6日にJグリーンで実施する予定です。OBの皆さん誘い合わせて参加していただきたいと思います。今のコロナの時代の中できる範囲ではありますが、OB会を盛り上げて続けていきたいと思っています。



【泉陽高校サッカー部OB会 連絡先】

泉陽高校サッカー部OB会facebook:

<https://www.facebook.com/senyosoccerob/>

泉陽高校サッカー部OB会LINE公式ページ:



OB会へのメール宛先。連絡はこちらから

e-mail: senyo_ob@yahoo.co.jp

OB会前会長 福井隆一郎(昭和41年卒18期)

泉陽高校サッカー部は、第9期の初代OB会会長の大元惇次氏らによって昭和30年に創部されました。創部当時はメンバーが足りず、第8期の豊買正道氏らに協力をお願いしました。今年で創部66周年を迎えます。長い歴史の中で、創部当時からサッカーに情熱を捧げる学生が、輩出しました。当時は野球が全盛の時代に、サッカーというスポーツに思い入れを抱く学生が多かったのは、多くの公立高校の中でも、特別な背景があったのかもしれませんが、当時 堺・高石地区の中学校から、多くの優秀な生徒が集まっていて、自然と強いチームに育っていきました。又、大学へ進んだOBの方々も進んで、現役の指導に來られ、その伝統が今も続いています。顧問の先生方も、歴代、熱血漢が多く熱心に生徒の指導を続けていただいています。

日本国内はもとより、世界情勢が大きく変化していく中、サッカーの環境も大きく変わってきました。私自身 泉陽高校の生徒であった時、東京オリンピックが開催されていました。マラソンで有名なアベベ ビキラが、旧国道26号線を疾走しているのを見に行った記憶があります。又、練習が終わった後、学校のテレビで日本サッカーの応援をしたことも覚えています。これをきっかけにサッカー日

本リーグが発足し、今の大変なサッカー界発展の礎を作った様です。

現在、泉陽高校の学生は、学校側やOBの応援を得て、週2回 堺浜のJグリーンで練習を行っています。当時との環境は大きく変わった今、すべての面で恵まれていると、我々は感じます。その中で、私は泉陽高校が公立高校だからこそ、頑張らなくてはいけないと思います。全国から有名選手を集めた私学有力校とは違った意味での、自由な雰囲気や伝統的に持つチームこそ限らない力が秘められています。特に学生スポーツに今叫ばれているのが、勉強との両立です。これを成し遂げて充実した高校生活とサッカーを楽しむことが、素晴らしい人格を将来的に発揮するものだと確信しています。私自身が泉陽高校の学生であった頃を思い出しても、偉そうなことは言えませんが、楽しかった思い出が、何年たっても蘇ってきます。又、伝統を守るためにも、是非、OB会の発展に努力すべきだと思います。今年は新型コロナウイルスの蔓延で、満足にOB会の活動はできていませんが、現役への協力は続けてさせていただいています。そして顧問の先生方とも常に、連絡をして、現役への応援を惜しまないつもりです。OB、OGの皆様 特に若い方々にも、今後とも泉陽高校スポーツの応援をお願い申し上げます。サッカーを通じて素晴らしい未来を!

福井前会長には、昨年度に記事をお寄せ頂いていたのですが掲載が漏れており、今年度に掲載させて頂きました。心よりお詫び申し上げます。

バレーボール部

近畿大会出場おめでとう!

もくれん会会長 中井兵亮(昭和34年卒11期)

滋賀県草津市7月16~19日 コロナウイルス感染症でどの学校も練習が苦しい時、良く頑張ってくれました。昨年の支援金渡す機会もなく困っていましたが、7月13日近藤君と、もくれん会の支援金年会分4万円、近畿大会分2万円を届けて来ました。今回は急に連絡を受けましたので前会長に相談して有志、小谷(8期)川口、田中、安保、奥野、古林(9期)生島、中井(11期)で少しばかりの支援金を上積みして、練習前に山村、黒木両先生、男女部員全体の前で、激励してきました。他に声をかけていません。もし賛同者があれば、年会費に上積みして納入して下さい、宜しくおねがいします。

従来会報は約500名の会員に送付し、約80名(固定?)近い会員から年会費を納入して頂いていますが、会報印刷費、会報発送費が高騰している現況を考慮して、経費節約面?から次回以降の会報発送は会費納入者のみに限定したいと思います。一部には会費値上げ案も有りますが。



バスケットボール部

OB会会長 壺井英夫(昭和47年卒24期)

泉陽高校バスケットボール部の歴史は古く、OB会(OG含む)名簿を調べてみますと、旧制女学校(大正15年卒業)の方々から今年の卒業生まで1,000名以上のお名前が掲載されています。ということで大正以来、連綿と90有余年間引き継がれてきた歴史あるクラブです。



OB会の主な目的は、卒業生の親睦を図るとともに現役生の活動を応援することにあります。この目的に沿って毎年11月にOB会総会を開催しています。総会では午前中は体育館に集い、現役生とのゲームやフリースロー大会で汗を流し、午後からは泉陽会館に場所を移し懇親会やジャンケン大会を通じて親睦を図っています。



ゲームでは気持ちに身体がついてゆかないユーモラスなプレーや、家族連れで参加し『パパ頑張って』という可愛い声援が体育館にこだまするとも微笑ましい光景も見られます。

残念ながらコロナ禍の影響で2019年の総会以来2年間開催出来ず、最近卒業された方々には母校に集い旧交を温める機会を作れませんでした。総会を開催出来ない間もOB会より寸志を贈呈し、現役生が楽しく有意義なクラブ活動が出来るように側面から応援を続けて来ました。

OB会の活動報告や今後の行事予定は『泉陽高校バスケットボール部同窓会』のHPに掲載していますので是非ご覧下さい。顧問の先生のご協力により現役の男女バスケットボール部HPにもリンクしていますので、最近の戦績を含めて現役生の様子もご覧いただけます。

2022年11月、3年ぶりのOB会総会開催に向けて幹事一同で準備を進めてまいりますので、卒業生の皆様には楽しみにしていただき、多くの方にご参加いただけることを心より願っています。

野 球 部

2022 主将は語る！

68期生主将 上月大地

私たち68期生は、選手13名マネージャー2名の計15名が在籍しておりました。2014年秋新チーム発足当初、「経験不足」という言葉が周囲から多く聞かれました。

夏に引退した67期生の先輩方は部員数こそ多くないものの、3大

会で公式戦7勝。私たち68期生はレギュラーポジションをほとんど奪うことが出来ず、1日2試合ある練習試合でもほとんど出場機会が無く、なんとか2試合目に出るのがやっとという試合経験が一因だったかもしれません。そして、新チームのキャプテンとして私は、強かった先輩方の引退後のチームを引っ張る不安と迷いがあったことを、今でも覚えています。



しかし、そんな思いとは裏腹に、部員全員がレギュラーになるために、試合に出るために、そして一打席でも多く打席に立てるように、暑い夏休みの練習を真剣に取り組みました。

迎えた秋の大会。68期として最初の公式戦で初勝利を手にし、私たちは「勝つ」喜びを知りました。と同時に「勝つ」難しさも知る一年となりました。限られた練習時間を古川先生(現：堺東高校教諭)のご指導のもと、基礎体力づくりと課題である打撃練習中心のメニューに取り組みました。さらに「ミーティング」も大切にしました。後輩の69期生を含め突出した選手はいないチームという、そのことを全員が自覚しているからこそ真剣に意見を出し合い、良かったところ改善すべき点、取り入れたい練習メニューなどなんでも全員で話し合いました。マネージャーにもたくさん意見を出してもらいました。時には意見がぶつかることもありましたが、ミーティングを重ねるごとに我々がチームとしての結束は深められ、白星の数も増えていきました。

春の大会を迎えました。残念ながら一回戦敗退。厳しい冬の相当量の練習を乗り越えてきたのに勝つことができなかった。そのことが、逆に私たち選手の『勝ちたい』という気持ちに火を付けました。春、70期生新入部員が加わり、より一層レギュラー争いが激しくなる中でも、もう一度全員で公式戦の勝利の喜びを分かち合いたい、ポジション別、学年別とあらゆる組織単位で、気づいたことは何でも言い合うミーティングを継続し、全員が心をつなげて取り組みました。その成果は徐々に結果として現れ、ゴールデンウィーク以降の練習試合では勝ち星が大きく先行しはじめ、ようやく自信が芽生えました。そして、夏の大会を迎えました。対戦相手は、公立高校の強豪八尾高校。負ければ68期生引退の大舞台。独特の雰囲気と緊張から試合は、ミスもあり初回から失点を重ねました。直ぐに反攻しスクイズで一点を返し、4回終わって1-3と食らいつきました。しかし、その後相手の勢いを止めきれず、中盤にも追加点を許しました。その間何度も、「いつも通り」、「楽しもう」と全員声を掛け合いました。しかし終わってしまえば、2-10で完敗。試合終了。仲間と顔を見合わせる度に、涙が溢れました。悔しさ、寂しさ、虚無感、味わったことのない感情が込み上げてきたのを、今でも鮮明に記憶しています。一方で、個々の努力だけでなくコミュニケーションの大切さ、周囲の方々への感謝など、多くのことを学ぶことができました。

現役の皆さんには、結果にももちろん拘っていただきたいですが、それ以上に「過程」と最高の仲間と野球ができる喜びを感じ、時にはぶつかり、かけがえのない時間を過ごしていただきたいです。現在68期の15名も泉陽野球部で学んだことを胸に、それぞれ新天地で活躍しています。年に数回集まることがあり近況報告が終われば、決まって部活動時代の話になります。そんな思い出は私たちの一生の宝物です。

泉陽高校野球部・三国丘高校野球部定期戦

【定期戦開催の経緯】

この定期戦は、泉陽高校野球部、三国丘高校野球部両校の野球部長を歴任された門林先生のご尽力により実現した定期戦で、35年以上継続して開催されてきているOB会行事です。



両高校野球部は、1947年の学校教育法の制定に伴う1948年に新制高校の改編が行われ、大阪府立泉陽高校(旧大阪府立堺高等女学校)、同三国丘高校となり、そのことに伴い在校生徒がそれぞれに再編が行われることとなり、当然に部活動部員も同様に振り分けられ、泉陽高校野球部は1948年10月に3期生を中心に創部しました。

定期戦は、血脈が同じ両校野球部の繁栄を願って、学校野球部関係者、OBの皆さんの協力のもとに継続して開催されてきています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2021年定期戦は前年に続き2年連続に中止となりました。なお感染拡大が予想される中、日常生活での感染予防対策が必要などから今年の開催も危ぶまれるところです。

定期戦が開催されて、OBが、現役が、世代を超えて純真に白球を投げて、打って、走る姿が早く実現することを願うところです。OBのみなさん！参加をお願いします。



【定期戦開催概要】

- ・実施日 毎年11月23日(勤労感謝の日) ※雨天中止
- ・当番校制 毎年輪番で試合運営を受け持つ。
(グラウンド整備、審判等定期戦運営全般)
- ・試合内容
 - 1) 試合球；硬式球を使用。
 - 2) OB戦及び現役戦(各一試合、OB戦は9イニング途中打ち切りあり)
 - 3) 試合会場は、主として泉陽高校G。
 - 4) 現役戦を午前、OB戦を午後に開催。(OBが全国各地からの参加出来ることを考慮し、現役戦終了後、午後から試合開始としている。変更の場合あり。)

観戦中の左側浅野勝氏(7期・甲子園出場時主将)右側森田実氏(12期)＞両氏は、2021年に亡くなりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



成人記念同窓会(令和2年卒72期)

代表 石崎利華子(令和2年卒72期)

6名の来賓の先生方を迎え、260名の大勢の参加者に支えられ、令和4年1月5日(水) 南海電車堺駅前のホテル アゴーラ・リージェンシーで開催しました。

オミクロンの対策として、ホテル側が検温、テーブルにはアクリル板の仕切りが用意され、感染には必要以上の対策がなされていました。また予定になかった集合写真も、全員の協力のもと、短時間で撮影することができました。

最後に5年後に、第2回目の同窓会を開催することを決め、散会しました。



～ 恩 師 は 今 ～

今年は青山充夫先生(美術)にご登壇いただきました。現在、服部緑地公園植物園で園内案内のボランティアを実施されておられます。「恩師は今」、「卒業生は今」にご登壇いただきたい方がいらっしゃれば、ご推薦をよろしくお願いいたします

広報: 本日は職場にまでお邪魔し、申し訳ございません。今回は園内をご案内頂きながら、お話を聞かせて頂けるようで有難うございます。早速ですが先生は泉陽高校にいつ頃から何年間ほどご勤務されましたか？

青山: 私が34歳から54歳の時でした。(昭和47年から平成4年)20年間美術を教えていました。クラブ顧問は美術部と女子ソフトボールでした。

広報: 一番思い出に残っておられることはどのようなことでしょうか？

青山: 前任者は宮崎先生で、そのまた前任者になりますが入江先生という画家で先生の方がおられました。その方と具現美術と言う展覧会と一緒に出させてもらっていました。とてもいい思い出です。

生徒との思い出は夏休みに二泊三日の写生旅行に出かけたことです。長い勤務期間に本当に色々な所に行きました。能登半島に行った時には朝市に出かけ写生しました。伊勢志摩に行った時には波切大王岬に行ったことなどよく覚えています。

広報: このお仕事(緑地公園で園内案内のボランティア『このゆびたかれ』)はいつ頃から始められましたか？

青山: 私は退職後10年くらい母親の介護をしていました。それで再就職が遅くなったのですが、前から好きだった昆虫や植物と関わる植物園でボランティアすることを目指して1年間、谷町にある大阪府立自然大学校で学びました。一つのテーマにつき1週間に一度座学と別の日に一日野外活動をしました。テーマはたくさんありましたよ。鳥、昆虫、きのこ、地質、稲作りなど自然全般のテーマについて学びました。私は樹木が好きなので植物園を選びました。

(センダンの実は鳥が啄むと中の硬い所だけが残る綺麗な星形になっていることや、イチゴの木の実が甘いこと、色々な種や葉っぱの形の違いやそれにまつわるお話を聞かせて頂きました。)

広報: この仕事をされていて、一番嬉しかった事をお聞かせ下さい。

青山: そうですね。私が案内した人には皆様にこのような手作りの物を差し上げています。その材料はこの園で見つけた切り株や枝や実ですが、それらを細工してお土産にするのは楽しい仕事です。また皆さんが喜んでくださる顔を見る事やそれがご縁で、親しくなった方々の中には季節ごとに絵手紙をくださる方もおられる事です。

広報: 植物園は思ったより広いですね。ハーブ園もあるのですね。

青山: はい、ハーブ園には日時計がありますが、最近インスタに写真が投稿されて、来園者が増えているのですよ。その日時計盤にはイギリスの詩人(ロバート ブラウニング)の詩が彫られています。最後に紹介しますね。Grow old along with me! (我と共に老いゆけよ) The best is yet to be. (最善の時は未だ来らず) 若い時代は老年のためにあるという意味だそうですよ。



広報: 良い詩を教えて頂きました。これからもボランティア活動頑張ってください。本日は本当に有難うございました。

(後書き) 青山先生はその詩のように若々しく澆刺としておられました。足取りも若者のように軽く、とても83歳には見えませんでした。来館者に説明するノートやポスターなどのイラストがあまりにも美しいので感心してしまいました。さすがは美術の先生と思いました。余暇にはオカリナ教室にも通われているそうです。何歳になっても学ぶことから離れない先生の生き方に感銘を受けました。

むすびの会より

会員の皆様の良縁のお手伝いをさせていただいています。

平成6年発足より昨年度まで129組が成立しました。

コロナ禍で活動を縮小していますが、毎月第2、第4土曜日2時～4時、会館にて予約制で閲覧を行っております。

また、随時、会員、委員の募集をしています。

(入会申込資格)

- 泉陽会会員並びに会員のお子様・お孫様
- 泉陽会会員のお知り合いの方

申込み、お問い合わせは、下記ホームページよりお願いします。

<https://senyokai.jp>

コールいづみより

こんにちは 毎年、新しい団員を迎えている「コールいづみ」です。2020年より10期生の男性が参加し、混声合唱団として生まれ変わりました。現在、9期生を筆頭に、合唱は初めての人、高校時代は運動部だった人、石若先生のご指導を受けたい! 歌が好き! というメンバーで、泉陽会館で月に2回練習をしています。コロナ禍の現在は、感染対策はもちろんのこと、オンラインレッスンにもチャレンジしております。関西の合唱界で今や知らない人はいない石若雅弥先生(52期生)の指導を母校で体験できるというまたとないチャンスに、一緒に参加されませんか? とっても楽しいレッスンととってもやさしいメンバーの コールいづみ♥あなた様の見学を心よりお待ちしております。



写真は「365日の紙飛行機」「優しいあの子」ウェスティ堺にて

連絡先 上田(26期) 090-9163-0676

三上(34期) 090-9703-8205

年会費納入のお願い

泉陽会は『会員相互の親睦を図ると共に、母校の進歩と発展に寄与することを目的』に活動を行っています(泉陽会会則第2条)。会の運営は会費・入会金及び寄付金によって運営(泉陽会会則第15条)しており、その多くを皆様からの会費によって運営させていただいております。

年会費収入の状況ですが、今期は昨年度の繰り越し分と、コンビニ振込が好調でした。コロナ禍の中、みなさまのご協力、心より感謝申し上げます。

ただ、全体的な傾向は大きくは変わっておらず、毎年予算では、4,500千円(1,500件)を計上していますが、ここ数年は達成が困難な状態が続いています。コンビニエンスストアも利用可能となり、会の目的である母校の進歩と発展のため、

みなさまのご協力をお願いできれば幸いです。

創立120周年にあたりまして、これまでに積み立てた記念事業積立金は、「食堂空調機器設置」に寄付させていただきました。前号でお知らせしたとおり、学校側より『空調がなく、汗をかきながらの食事となり、放課後は利用をためらうなど、必ずし利便性の高い場所とはいえず、熱中症も懸念される』、『生徒の要望、保護者からも再三環境改善の依頼を受けている』との申し入れがあり、2021年8月に竣工し、無事、引き渡すことが出来ました。次の130周年事業に向けて、今年度より記念事業のための積み立てを開始します。みなさまのご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

広報委員会より

昨年も残念ながら、いつもご協力いただいている封緘作業は中止となりました。今年は6月に、希望する期のみを対象に封緘作業を実施する予定です。来年には状況も落ち着き、ふたたび封緘作業にたくさんみなさまとお会いできることを、楽しみにしております。その節は、ぜひご協力をお願い申し上げます。

いづみ掲載記事をお寄せください

募 集 記 事	●OB、OGのご活躍の情報、紹介した同窓生の情報 ●同窓生の会社やお店の情報 ●同窓会報告 ●同窓会開催案内 ●泉陽高校関係の情報 など ※紙面の都合により、掲載されない場合があります。あしからずご了承くださいませ。
記事の文字数など	おおむね原稿用紙1枚(400字程度) それよりも多くてもかまいませんが、紙面の都合上、文脈を変えず編集することがあります。写真については1枚～2枚までにしていただくと助かります(誌面の関係ですべてが掲載されない場合があります)。送付いただいた原稿、写真の返却が必要な場合はお申し付けください。
記事の送付方法	できれば電子媒体での入稿がありがたいですが、紙媒体でも問題ありません。 ・ 郵 送：泉陽会館に広報委員会宛で送付ください。 ・ メール：koho@senyokai.jp

編 集 後 記

今年も残念ながら、同窓会に関する記事はほとんどありませんでした。なんとか誌面は埋めましたが…。来年はたくさんの方の記事で、『いづみ』が彩れることを心から祈るばかりです。これまで投稿のなかった期のみみなさまも、ぜひぜひ情報をお寄せ下さいませ。

また、広報委員も含めて委員のメンバーが減少傾向であり、ご協力いただける方のご参加をお待ちしております。

(昭和60年卒37期 吉山 論)